

戦 評

大会名 第19回日本スポーツマスターズ2019バレーボール競技岩手県予選会

期日:令和元年6月23日
会場:オガールアリーナ

男子決勝戦

巖きたかみ 2 $\left\{ \begin{array}{l} 21 - 8 \\ 21 - 18 \end{array} \right\}$ 0 藤沢クラブ
試合時間 0 時間 47 分

主 審 藤 原 和 紀

副 審 成 田 博 和

戦 評

県内マスターズチームの絶対的王者に君臨する巖きたかみに対し、6年連続決勝対決で敗れ、その雪辱に燃える藤沢クラブとの一戦。

第1セット、巖きたかみは11番伊藤のサーブで流れを掴み、11-5と序盤からリード。さらに多彩な攻撃陣がたたみかけ、藤沢クラブに連続得点を許さずこのセットを奪った。

第2セット、後がなくなった藤沢クラブは、攻守に安定感が出て、粘り強いレシーブからレフトにボールを集め、中盤15-11とリードする。流れを引き戻したい巖きたかみは、ここから12番高橋のサービスエースや、セッター千田が両サイドを幅広く使った攻撃にセンター4番下田、11番伊藤を巧みに操り、速攻、時間差攻撃を絡めた攻撃で終盤同点に追いつき試合の流れを引き戻す。

藤沢クラブも必死に粘るものの単調な攻撃となり、勢いづいた巖きたかみがこのまま相手を押し切りこのセットも奪い、8年連続15回目の優勝を飾った。

戦評者 工 藤 睦

岩手県クラブバレーボール連盟